

# 牛と農村の近代史

## 家畜預託慣行の研究

板垣 貴志 著

▶ A 5判・266頁／定価5,040円 ISBN978-4-7842-1725-0 2014年1月刊行

明治以降の近代化のなかで発展から取り残された中国山地。そこでは前近代的べールに包まれた家畜預託慣行が急激に拡大していた。

本書は、牛を介して取り結ばれる人々の社会関係を明らかにし、それが近代農村で果たした歴史的意義を解明する。そして歴史の片隅へ押し流されながらも、地域社会の調和と共存のために努めた名もなき農民群像を描く。いくなれば、進歩のかけで退歩しつつあるものを見定めた宮本民俗学に共鳴する社会経済史である。

### 牛と農村の近代史 家畜預託慣行の研究

板垣貴志 著



#### ◆◆目次◆◆

#### 序章 課題と視角

- 第一節 本書の課題
- 第二節 本書の視角

#### 第一章 家畜小作概念の再検討

- 第一節 家畜小作概念の問題点
- 第二節 家畜所有に関する統計資料の問題点

#### 第二章 牛生産地域における家畜所有の歴史的展開

- 第一節 牛経営帳簿の記載様式と収益方法
- 第二節 牛所有の変遷

#### 第三章 中国山地における蔓牛造成の社会経済的要因

- 第一節 役牛の特質と価格
- 第二節 牛の育成システムの確立

#### 第四章 中国山地における役牛の売買流過程と牛馬商

- 第一節 牛馬商の専門分化と常連相手の形成
- 第二節 牛馬商の階層構造
- 第三節 牛馬商取締の変遷

#### 第五章 鞍下牛慣行による役牛の循環と地域社会

- 第一節 出雲地方における鞍下牛慣行の概要
- 第二節 鞍下牛循環サイクルの分析
- 第三節 預け牛と鞍下牛の広域的循環による地域内分業

#### 第六章 中国山地の預け牛関係にみる信頼、保険、金融

- 第一節 預け牛関係に内在する保険機能
- 第二節 利益分配率推移の外在的要因と内在的要因
- 第三節 預け牛関係に内在する金融機能

#### 終章 家畜預託慣行の盛衰と近代日本農村

- 第一節 たたら製鉄の衰退と牛馬頭数推移
- 第二節 家畜預託慣行の拡大と牛馬商の台頭
- 第三節 一九三〇年代の構造変化と家畜預託慣行の衰退

#### 附論 板垣家文書の史料群構造

- 第一節 調査の経緯と収納状況の特質
- 第二節 史料群の特質と板垣家の来歴
- 第三節 史料群の構造

#### 聞き書きノート

板垣武吉氏／宮本芳雄氏／高尾忠次郎氏  
石飛弥一氏／陶山葉子氏／福山清氏

いたがき・たかし…1978年島根県生。愛媛大学法文学部人文学科卒業、神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科修了。修士（歴史民俗資料学）神戸大学大学院文化学研究科修了。博士（学術）。阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター震災資料専門員をへて、神戸大学大学院人文学研究科特命助教。現在、神戸大学大学院人文学研究科特命講師。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	牛と農村の近代史	本体4,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1725-0	
お名前		tel		書店番線印	
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代 引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）				

本書HPのQRコード

書店番線印

## 老農・中井太一郎と 農民たちの近代

大島佐知子著

農業近代化の過程で重要な役割を果たした「老農」といわれた農事改良者たちは近代化のなかで忘れられた存在である。除草機「太一車」の発明者として知られる中井太一郎について、ライフヒストリーを丹念にたどりながら、彼の技術・思想や、その全国巡回を支えた組織・団体などを明らかにする。

【内容】前半生と地租改正反対運動／明治前期鳥取県における農事改良／太一郎の農業技術体系／太一郎の技術普及／帝国農家一致結合と太一郎／太一郎の晩年

▶A5判・380頁／定価 7,875円 ISBN978-4-7842-1710-6

## 畿内の豪農経営と地域社会

渡辺尚志編

18世紀末以降、河内国丹南郡岡村（現藤井寺市）の庄屋を世襲した豪農・地方名望家が岡田家であり、近世・近代において同家が作成・授受した「岡田家文書」は、1万数千点にもおよぶ。近年整理が進められている岡田家文書を多角的に分析し、畿内における村落と豪農の特質を経済・社会構造の観点から解明する。

▶A5判・508頁／定価 8,190円 ISBN978-4-7842-1385-6

## 一六世紀イングランド農村の資本主義発展構造

松村幸一著

故・松村幸一氏（大阪経済大学名誉教授）の16世紀イングランド農村における資本主義発展に関する膨大な数の論文の中から主要な論文をまとめた一書。戦後の大塚史学と、イギリス資本主義を含む各国資本主義の類型をめぐって激しく論争した中で生まれた諸論考を2部構成で収録。巻末に参考文献と索引を付した。

▶A5判・660頁／定価 14,700円 ISBN978-4-7842-1575-1

## ミシンと衣服の経済史 地球規模経済と家内生産

岩本真一著

19世紀後半から20世紀半ばにかけて、シンガー社のミシンは世界を席巻した。シンガー社の日本進出を中心に、近代日本におけるミシンの普及と衣服産業の展開を分析。衣服産業については工場内生産のみならず家内生産にも視野を広げ、これまで断片的にしか知られてこなかった近代日本衣服産業の概要と特徴を明らかにする。

▶A5判・320頁／定価 6,300円 ISBN978-4-7842-1719-9

## 近代日本と地域振興 京都府の近代

高久嶺之介著

近代日本の地域社会の姿を、京都府下における、明治前期の京都宮津間車道の開鑿・明治前期～中期にかけての琵琶湖疏水と鴨川運河の開鑿・明治初期～昭和の敗戦直後までの天橋立の保存とその振興・明治初期～昭和の敗戦直後にかけての童仙房村の開拓、という特定のテーマを取り上げ、地域振興の視点から考察する。

▶A5判・364頁／定価 6,825円 ISBN978-4-7842-1570-6

## 環琵琶湖地域論

西川幸治・村井康彦編

地域研究の深化が求められる昨今。本書は、滋賀県立大学の研究スタッフが、琵琶湖をとりまく自然・経済・民俗・遺跡などをとりあげた成果。【内容】中世商業村落の生活と環境の整備／人と自然の関係史素描／江戸時代における琵琶湖の鳥獣について／琵琶湖湖底遺跡の研究／内湖のあった生活／溜池のある風景 他

▶A5判・340頁／定価 7,350円 ISBN4-7842-1175-6

## \*近代地方政治と水利土木

服部敬著

淀川・安威川・神崎川の水利構造の変遷と分析、沿岸住民の治水運動と中央・地方議会と政党の対応、近代化の意味と中央集権的近代国家の性格を地域史の視座から問う。

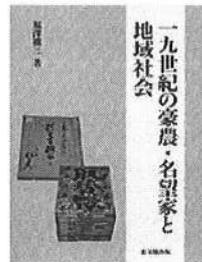
【内容】近代国家の成立と水利慣行／水利組合の成立とその機能／淀川改修運動と地方政治の動向／日露戦後の農事改良政策と水利問題

▶A5判・400頁／定価 6,930円 ISBN4-7842-0873-9

## 一九世紀の豪農・ 名望家と地域社会

福澤徹三著

19世紀の豪農・名望家と地域社会の関係を、上位権力（領主など）と都市と取り結ぶ関係にも留意しながら総合的に検討することにより、近代・近代移行期の特質を解明するための地域社会論の提起を目指すものである。中核的豪農と一般豪農の経営レベルの比較、金融活動の分析を中心に、畿内・信濃の地域間比較の視点も加え、その生業・営為を近世・近代を通じて明らかにする。



▶A5判・330頁／定価 6,300円 ISBN978-4-7842-1642-0

## 中近世農業史の再解釈『清良記』の研究

伏見元嘉著

戦国末期伊予の軍記『清良記』全30巻を分析。その著者および成立年代を確定し、日本最古の農書とされる第7巻「親民鑑月集」の位置づけを明かす。近世農業の始まりとしての農書という定説をくつがえし、中世農業の最終段階をはじめて詳説したと位置づけ直す。

▶A5判・424頁／定価 8,190円 ISBN978-4-7842-1562-1

## \*20世紀の経済と文化

徳永光俊編 大阪経済大学日本経済史研究所研究叢書  
20世紀の経済・社会・文化について、大阪経済大学の教員が多様な角度から論じ21世紀を展望する論文集

【内容】20世紀国際通貨制度の回顧と展望／集権の20世紀から分権の21世紀へ／20世紀の社会保障／ロシア革命とカウツキー／20世紀後半の農業史研究と日本農業／明治維新史研究の過去と現在 他

▶A5判・210頁／定価 3,675円 ISBN4-7842-1046-6

## 日本産業技術史事典

日本産業技術史学会編

明治維新以降めざましい発展を遂げ、近代化の歩みを支えた産業技術の変遷を跡づける。23の大項目と344の小項目で系統的・組織的に日本の産業技術史を俯瞰した画期的な読む事典。近代化以前からの「草の根」における技術と技能の蓄積対しても光を当て、民間の「現場」の力を重視する。

▶B5判・550頁／定価 12,600円 ISBN978-4-7842-1345-0

## \*丹後地域史へのいざない

上田純一編

歴史を「地域」の視点から見つめ直そうという関心の高まりつつある中、古来より独自の歴史や文化が生まれ育まれてきた京都府下の丹後半島地域を総體的に解明する試み。政治・経済史的観点からだけでなく、地域住民の視点から、そして彼らの抱いていた歴史的な帰属意識や時代心理の分野にまで言及した全7篇を収録。

▶A5判・184頁／定価 1,680円 ISBN978-4-7842-1348-1

## 近世琵琶湖水運の研究

杉江進著

近世における堅田の変貌、後背地との結びつきにより分けられる三地域（「諸浦の親郷」（堅田・大津・八幡）・湖北四ヶ浦・彦根三湊）の対抗関係、船の航行と船支配の関係という三つの視点を軸に、近世前期琵琶湖水運の構造と特質、廻船規定、諸浦の盛衰を取り上げて論究する。

▶A5判・464頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1551-5

## \*近代京都研究

丸山宏・伊従勉・高木博志編

歴史都市・京都は、近代に大きく変わったまちであった一。本書は、京都という都市の普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちの研究成果。

【内容】都市改造の自治喪失の起源／都市計画事業として実施された土地区画整理／北垣府政期の東本願寺／京都府会と都市名望家 他

▶A5判・628頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1413-6

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。